

東由利村報

No. 60 36・12・15
発行所 秋田県東由利村役場
印 刷 所 株式会社 本間印刷所

本庄市・横手市
・大船渡市を結ぶ重用な産業路

線でもあり、したがつて沿線の各市町村もこの橋梁の整備によつて大きな恩恵を受け、救われたわけであります。道路は人間生活の動脈であり、また産業振興の基盤でもあつてだからこそ私たちちは真剣にその整備強化をお願いしてきましたのであります。長い年月かゝつてようやくその一歩を実現した今日は嬉しくてたまりません。

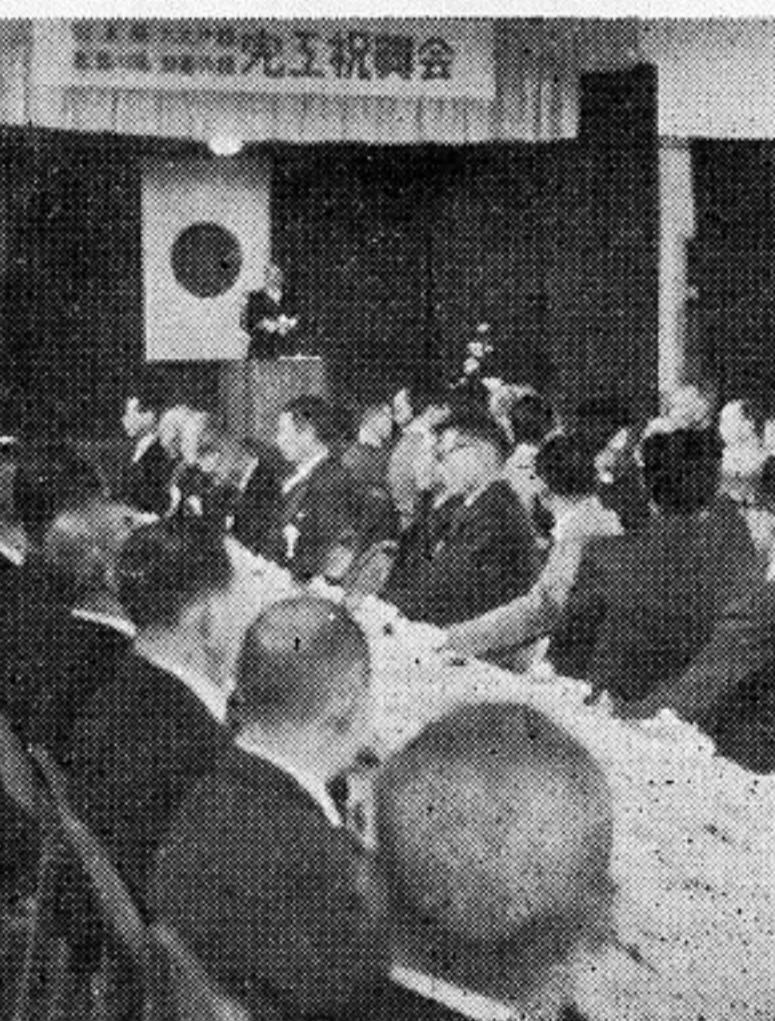
あわせて大琴の一角に本年舗装

永久橋完工祝賀会に
村長のあいさつ要旨

国道一〇七号線の「全面改良貫徹」

新道路五カ年計画の実施にあたり、とくに後進

紙面案内	
2面	農業労動力調整協議会 葉たばこ収納成績 「自主納税」
3面	佐藤さんの乳牛の成績 5分団に消防ポンプ
4面	成人記念論文募集 児童扶養手当の支給



写真説明

(上) 完工した高瀬川橋
(下) 完工祝賀会であり
さつをのべる阿部村長

今月は
固定資産税
3期の納期

良、防災工事等の促進に努力された前県議猪股勘一郎氏に本荘市と本村から感謝状と記念品が贈られた。

国道一〇七号線本荘市・本村地内の良善寺橋・物言橋・大比戸橋・高瀬川橋永久橋架替工事は昭和三十三年から着手され、高瀬川橋を最後に全部完工したのでこの完工祝賀会を十一月二十七日、下郡中学校におひて本荘

市と共に催で挙行した。

の架替えはこれらを結んで交通運輸強化のためにも意義が深い祝賀会は十一時から、はじめ佐藤本荘市長、阿部村長よりあいさつがのべられ、松野参議院議員、行蔵、義二等の兄弟が、

――目標突破した共同募金――
たすけあいの心を倍に――
のモットーで展開された赤
い羽根共同募金は全村民の
温かい協力によつて目標額
一三万七千七百円を大きく
上廻る一五万一千円寄せら
れた。
ほかに復十字運動の封筒代

星所長両氏とはかつてその防備施設をつくり、現斎藤所長の三代にわたりようやく危険を除去安心してバスや貨物自動車の運行をよういならしめた偉業に対し関係住民を代表してこの席から深甚なる謝意を表する次第であります。

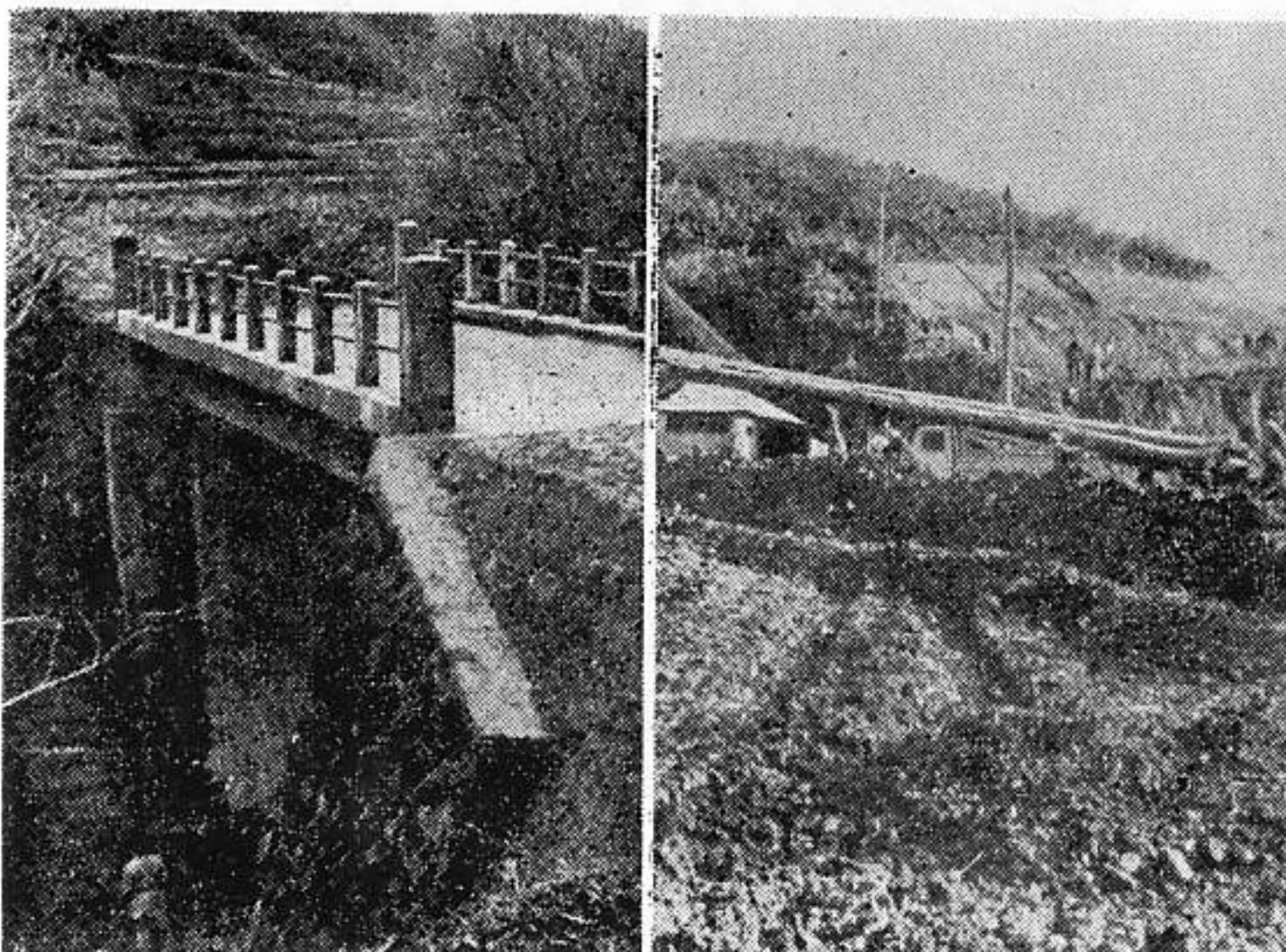
うでありますので県の積極政策に呼応してわれわれ関係市町村民一丸となり、県選出代議士、県議会議員諸氏を激励して道路改良計画の実施を容易ならしめなければなりません。

「無より有を生ずるは政治の力なり」この信条を身につけ、本荘市・横手市を結ぶ一〇七号線の「全面改良貫徹」をお互い誓いあいたいものであります。

建設の符

善徳林道の1号橋完成

善徳林道の1号橋は木橋で、その地勢からつねに破損の危険にさらされてきたが、このほど永久橋架替工事が完成してその不安も解消された。橋長11.6メートル、工事費は160万円である。



根城の第1種改良工事着手

国道根城地内のカーブや勾配などをよくする第1種改良にいよいよ着手された。山も機械の力でみるみる崩され平垣な道路が仕上がるまでドロンコ道も後しばらくのしんぼうというところ

農業労働力調整協議会を新設

就業構造の改善をすすめる

本村農業委員会ではこのほど農業労動力調整協議会を新しく設

美少佐アドミラル議長の議會を新設し、議會置することになり、委員十氏を次とのおり選任した。

てはいるという事情を背影に、本村の農業における基幹労働力の確保と反面、他産業に就業を希望する農家の人々が適当な職業につくことができるようにはかなり、農業就業構造の改善を積極的にすゝめようとする目的の

A black and white photograph showing several people working at long tables covered with white cloths in what appears to be a food preparation or packaging facility. One person in the foreground is holding a large tray filled with small items, possibly nuts or seeds. The background shows more workers and shelves.

今年の葉たばこの収納は十一月
二十九日、三〇日、三十一日、

前年より反~~並~~り2万円増加

好成績の葉たばこ収納

ていくことにしてある。

耕作者が年々減少の一途という問題を解決するため今年から本村では収量も多く耐病性のある新品種バーレー二号を作付けて安全性をたかめ、また等級格差を少なくするなどの対策がとられたが、同耕作組合では今年の良好な成績に力をえて今後耕作者の増加を積極的に呼びかけ

十二月二日役場で開催され、畠山作喜君（土場沢）の「現代社会の一青年として」が一位に入賞、翌日仁賀保町で開催された由利郡青年弁論大会でも一位を獲得した。

また総合成績でも本村青年会は二位に入る好成績を上げた。

できるだけ滞納者への訪問徴収をやめて

差押強行も止
えない状況

の訪問徴収をやめ
て、自主納税の本來の姿である
自主納税にきりか
え、文書などによつ
て滞納一掃をお願い
してきているが、こ
れまでの状況からす
るとまだまだ自主納
税への途は遠い。

十一月初めより成績の悪い部落を中心に第一次の差押処分を実施した。差押した件数は十二件でうち六件は完納によつて解除したが、これまでの状況からすると当分はこれを強行していくかなければならぬようである。

第一次の差押は主に前年度以前の滞納者を対象としたが、以後は現年度分もふくめて実施する計画である。

令書ができるがこれも全部完納しさつぱりした気持ちで新年を迎えるものである。

すでに本年度の税金を四期まで納入した方も沢山いる。民税で二八名、固定資産税で四二名、国保税で三三名おられるが、この人たちのまねはできなくとも少なくとも督促状が出るまでに八五ペーセントぐらいの徴収率を上げたいものである。

滞納の差押処分などという、どちらにとつても不名誉なことをなくして、自らの納税計画によつて納期内に、指定された場所で税金を納める「自主納税」を力強く進めていくことを誓い合いたいものである。【税務係】

滞納の差押処分などという、どちらにとつても不名誉なことをなくして、自らの納税計画によつて納期内に、指定された場所で税金を納める「自主納税」を力強く進めていくことを誓い合いたいものである。【税務係】

お正月は

簡秦二·所生舌

総生産乳量四・七トン

不評ふつ飛ばした佐藤さんの乳牛

ないという一部の批判があるが技術の向上と基盤整備が進むにつれて、このような不評をふつ飛ばすようなみなぎとなざく乳成績を上げている農家が多くなつたことは喜ばしい。



本村の酪農事業も農家のふだ
の研究と努力により、ようやく
軌道にのりはじめ、成績もすば
らしく向上してきている。

以降九カ月間の総生産乳量四・
七トンを記録した。

そして一家で一・二頭の片手間酪農でなく本格的な多頭飼育や共同化へふみきつて いるところも多く、これにつれて本村の農業形態も大きく変化しようとしている。

かくジャージー牛は乳量が少
營林局との併用林道として契
約を結んだ村道法内線の丸山
橋は本荘營林署単独で架替工
事が進められてきたが、その
開通式を十一月十三日松浦本
莊營林署長はじめ工事関係者
と地元関係者が集まつて行
われた。

煙八〇アールを飼料烟と牧草地
法内線は県道昇格の申請中で
将来は矢島町と大曲市を結ぶ
重要路線に仕立て上げようと
いう遠大な構想がもたれてい
るおりから、この丸山橋の完
成は実質的な構想実現へのか
け橋となる意味にもとれて喜
ばしいかぎりである。

写真はおりからの小雪の中について行われた渡初め

11月13日・丸山橋の開通式

5分団に消防ポンプ2台
先覚者に今日の明



曾うれた。

たはこばで

村消防団第五分団（蔵）にこのほど新しい動力ポンプ二台が交付、配属されたので、その入魂式と披露式が十二月十日、同分団員と後援会の人々が集まつて蔵小学校で行われた。

過去に二度も大火の洗礼をうけたことのある当地域の人々は、とくに消防に対する理解も深くかつては猛訓練につぐ訓練で優秀な成績を上げ、由利の消防リの草分け、ともいわしめた伝統を引ついでいるところであり、

役場の年末年始休み
役場の年末年始休みは十二月二十九日から一月三日まで、なお二十八日は大掃除のため用事は二十七日まで済ませるようになんでいる。

参院建設委員長
国道視察で来村

迎えて阿部村長と佐々木雄物川町長から国道の改良工事促進と旧横莊鉄道跡地の県道昇格について陳情された。

【国道視察のため本村に立寄つた稻浦委員長】左から三人

【写真（上段）はみごとな乳量成績を上げた牛と、手入れする佐藤さん】

努力された阿部
直一郎・佐藤謙
吉両氏に対して
後援会長より感謝状と記念品が
贈られた。

成人記念論文を募集

新しい自覚と村づくりの抱負を

いよいよ成人の日も
近づいてきたが、村
ではこの記念行事の
一つとして成人論文
を募集する。

これは公人として政
治に参画していく出
発点にたつた新しい
成人者から、これか
らの村づくりのあり
方、方向についての
感想、抱負をもとめ
たかめていただくと
同時に村一般行政の
施策にも役立てよう
とするものである。

募集要領は次のとお
りで、成人該当者多
数の応募を希望して
いる。

① テーマ

「東由利村を発展させるために
内容は本村の一般行政、産業、

経済、教育、民生、または村民
の日常生活、いろいろな団体の
あり方などどのような角度から
でもよく、今後の本村の発展の
ためかくありたいこと、方向な
どについて具体的に自由に考え
をまとめる。

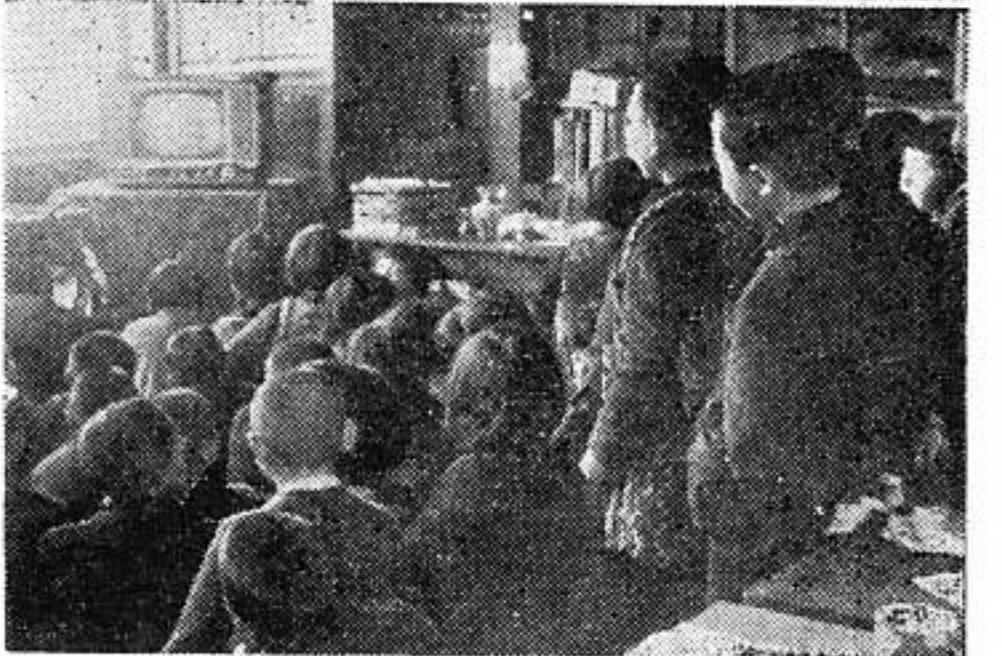
② 応募締切
昭和三十七年一月五日

③ 原稿枚数
四百字詰原稿用紙三~四枚程度

④ 賞与
入選・村長賞・議長賞・教育委
員長賞・公民館長賞各一点、ほ

⑤ 発表
当日行う

⑥ 原稿提出先
入選者及び内容の発表は成人式
役場内、成人記念論文係まで



学校への贈りもの2題

老方小に鼓笛・宿小にテレビなど

【写真説明】(上)は
さつそく鼓笛隊を編
成して市中行進する
老方小の子どもたち
(下)は臨時にテレ
ビが備付けられた宿
小学校の職員室はす
べてテレビ教室に早が
り大喜び、毎日これらの新し
い教材を学習にとり
入れて楽しい学校生
活を送っている。

老方小の子どもたち
(下)は臨時にテレ
ビが備付けられた宿
小学校の職員室はす
べてテレビ教室に早が
り大喜び、毎日これらの新し
い教材を学習にとり
入れて楽しい学校生
活を送っている。



陛下に新穀献納された

阿部朝吉氏

前号でお知らせした阿部朝吉氏
が新穀献納者に選ばれて皇居賢
所に参殿されたときのもよう。
また陛下からは次のような御歌
を賜わった。

天皇陛下の御歌

新穀献上者に

一とせの

まことこめたるたなつもの

捧ぐる田子に

あふぞれしき

せらぎ句抄

かさす手の皆節くれて焚火燃ゆ

与吉

雪つけて山晴れ続々焚火かな

正あき

焚火して古城談義に夜を徹す

芳翠

猫の目の焚火によりてあどけなき

国英

山鳴りの海に落ちたる焚火かな

青滴

年賀状の差出し・23日まで
老方郵便局では年賀状が正確に
元日に届くようにするため、二
十三日まで差出されるよう望ん
でいる。

①父が婚姻を解消した後、
父と生計を異にする児童
②父が死亡した児童（これは
母が二十歳未満のときだけ該
当、母が二十歳以上であれば
「母子福祉年金」に該当する
ためである）

③父が癡疾である児童（癡疾
の状態は年金の「一級癡疾」
の程度であるが、精神障害も
入るので「障害福祉年金」を
受けている人はもちろん、父
が重い精神病の場合も該当）
④父の生死が明らかでない児
童

⑤父が引続き一年以上遺棄、
または拘禁されている児童
⑥婚姻の届出をせず、父から
認知された児童で前記のよう
な児童

⑦母が婚姻によらないで懐胎
した児童、またはそれが明ら
かでない児童
毛当の支給は請求した
翌月から開始

この手当の支払月は毎年一・五
九月であるが、三十七年の一・
二・三月分だけは三月に支払わ
れる。

なお該当者の「認定請求書」の
受付けは今月の下旬に予定され
ているが、この支給は請求した
翌月から開始されることになつ
ており、請求することが遅れる
とそれだけ不利になるので注意
が必要である。

老方郵便局では年賀状が正確に
元日に届くようにするため、二
十三日まで差出されるよう望ん
でいる。